

全ての子どもが輝くために、充実した支援を目指して

**NO. 20**

平成30年12月25日

葛南教育事務所 指導室

## 特別支援教育推進通信

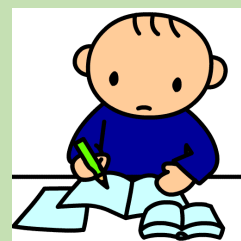
特別支援教育班

### わかる授業づくり(授業のユニバーサルデザイン)その3

新学習指導要領では、各教科の指導に当たって、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を育むための学びの質に着目し、授業改善の取組を活性化していく視点として「主体的・対話的で深い学び」を位置付けている。

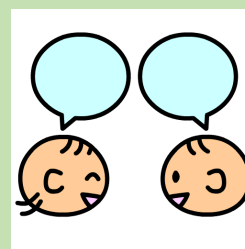
#### 1 主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」。



#### 2 対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」。



#### 3 深い学び

習得・活用・探求という学びの課程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えを基に想像したりすることに向かう「深い学び」。

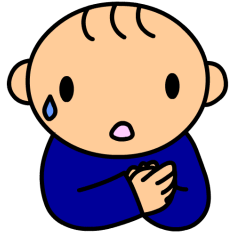


授業のユニバーサルデザインを通して、どのように授業改善を進めていけばよいのか整理してみましょう。

# どのように考えますか？

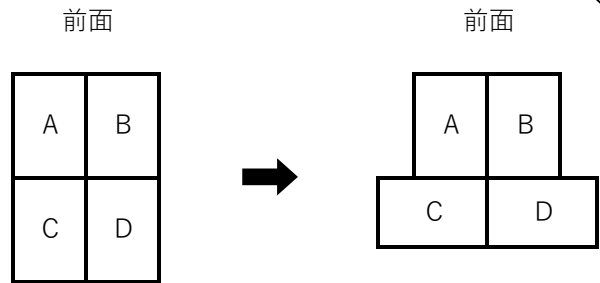
<ケース1>  
グループ活動で発言する子どもが少ない場合

○ 確認してみましょう	
・ 一人一人が発言しやすい隊形になっていますか	<input type="checkbox"/>
・ 発表の順番や司会などの役割分担をしていますか	<input type="checkbox"/>
・ 聞くときの姿勢のルールを明確にしていますか	<input type="checkbox"/>
・ 5W1Hの定型文を用いるようになっていますか	<input type="checkbox"/>



### 授業のユニバーサルデザイン

◇ 話し合いがしやすいグループの人数は、3～4名です。机の配置をT字の隊形にすることでお互い距離が近くなり、より話し合いやすくなります。



◇ 発表の順番を決めることで全員が活動に参加できるようにします。また、グループの中で司会や書記などの役割分担をすることで、役割を果たしながら活動に参加することにつながります。

◇ 話し合い活動では、大切な活動です。ルールを決めることで、お互いの意見に共感し合えるようにします。

- ・ 話している相手に体を向ける。
- ・ 話し終わるまで黙って聞く。                      等

◇ 質問や課題に対して定型文（5W1H）を準備くします。話す内容を整理することで不安を軽減し、自信を持って発言できるようにします。

#### 話し合いのルール（例）

1	役割分担を決める
2	発表内容を各自まとめる
3	ルールの確認
	①司会の進行を進める
	②発表者の方を向く
	③黙って話を聞く
	④質問したいことはメモをとる
	⑤発表が終わってから質問をする
⑥発言は司会に指名されてから行う	
4	話し合いを始める

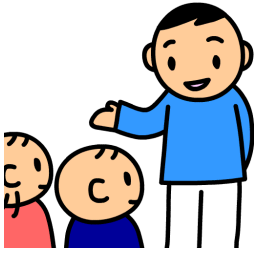
定型文の例

聞いたこと	どうした	どのように	それが（わたしは）	どこで	いつ
-------	------	-------	-----------	-----	----

発表のしかた

<ケース2>

活動中に何をすればよいか分からなくなる  
場合



○ 確認してみましょう	
・ 活動の流れを提示していますか	<input type="checkbox"/>
・ 自分自身で活動を確認できるようにしていますか	<input type="checkbox"/>
・ 活動内容はシンプルで具体的にしていますか	<input type="checkbox"/>
・ 2つ以上の動作を行っていませんか	<input type="checkbox"/>

授業のユニバーサルデザイン

- ◇ 活動の流れを提示することで見通しを持ちやすくなります。また、何をすればよいか分からなくなった場合には、自分で確認し取り組めるようにします。
- ◇ 聴覚情報の他に視覚情報を合わせることで理解しやすくします。
  - ・ 板書したものに説明を加える。
  - ・ 説明した内容を板書する。
  - ・ ICT機器を使用して課題や発問などを表示する。      等
- ◇ 活動内容をシンプルにすることで、「何を行えばよいのか」という活動の目的が理解しやすくなります。
- ◇ 子ども達はノートに書きながら、話を聞くという2つ同時の活動は取り組みにくくなります。一指示一動作にすることで、集中して取り組みます。

一指示一動作（例）

教員の活動		子どもの活動
1 板書する	↔	黒板を見る
2 黒板を使って説明する	↔	話を聞く
3 机間指導で様子を確認する	↔	ノートに書く
4 机間指導しつつ板書する	↔	課題に取り組む